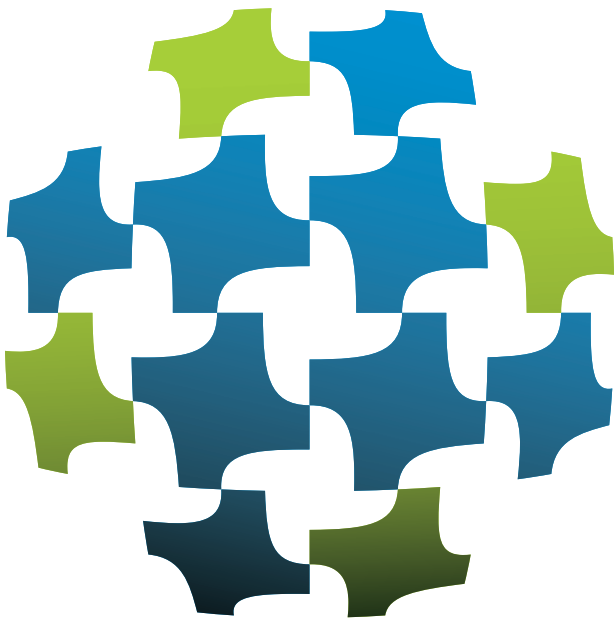


## 第2回公開シンポジウム

# 来たるべき大規模災害に備えて

～多様な主体による新しい防災のパラダイムの確立～

2015年1月27日(火) 13:00～16:55 参加無料



## コミュニティがつなぐ 安全・安心な都市・地域の創造

平成24年度に発足した「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」研究開発領域では、今後予想される大規模災害に対し、強くしなやかな社会の実現を目指し、被害の軽減につながる研究開発を進める活動を行っております。来たるべき大規模災害への備えとして、今まさに“新しい防災のパラダイム”を確立する必要があり、そのためには災害からの立ち直り過程も含めた「レジリエンスモデル」の導入が不可欠なのです。

本シンポジウムでは、新しい防災のパラダイムの根幹となる「多様な主体の参画」に焦点を当て、本領域の成果が体系的に結実していけるよう、領域として向かうべき「レジリエンスモデル」の方向性について、みなさまと議論してまいりたいと考えております。

基調講演では、ランドスケープアーキテクトのひとりとしてデザインと計画の両輪で世界的にご活躍されている中央大学の石川幹子先生より、宮城県岩沼市における復興過程の実践的研究から得られた社会的共通資本の再生に関する知見についてお話していただきます。

パネルディスカッションでは、「多様な主体の参画」をテーマに、本領域に採択された研究実施者のみなさまから各プロジェクトの位置づけを踏まえて、より良い社会を実現するためにどのような研究成果が求められるかについて議論してまいります。

本領域の全採択プロジェクトの具体的な活動の紹介については、ポスターセッションを行い、各研究実施者から直接みなさまにご説明させていただきます。

### 開催情報

|      |   |
|------|---|
| 日時   | 2015年1月27日(火) 13:00～16:55                                   |
| 会場   | コクヨホール<br>(東京都港区港南1-8-35 2F)                                |
| アクセス | JR品川駅港南口(東口)より徒歩5分  |
| 参加費  | 無料  |
| 定員   | 250名(先着順)   |
| 申込   | anan2@ristex-event.com<br>お名前、フリガナ、ご所属、役職を明記の上、<br>お送りください。 |



## プログラム (予定・敬省略)

13:00 開会挨拶

泉 紳一郎 (独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター長)

13:10 基調講演 「岩沼市の復興過程から紐解く社会的共通資本の再生」

石川 幹子 (中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授)

13:40 ポスターセッションのプレビュー

古屋 貴司 (独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター アソシエイトフェロー)

13:55 ポスターセッション・休憩

14:50 パネルディスカッション

論題 : 「多様な主体による新しい防災のパラダイムの確立」

話題提供 : 「多様な主体が目指すもの」

林 春男 (領域総括/京都大学 防災研究所 教授)

モデレーター : 奈良 由美子 (放送大学 教養学部 教授)

パネリスト : 朝廣 和夫 (九州大学大学院 芸術工学研究院 環境デザイン部門 准教授)

乾 健太郎 (東北大学 電気通信研究機構 教授)

廣井 悠 (名古屋大学 減災連携研究センター 准教授)

山中 英生 (徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部 教授)

石川 幹子 (中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授)

林 春男 (領域総括/京都大学 防災研究所 教授)

16:50 閉会挨拶

津田 博司 (独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室長)

16:55 終了

※ホワイエでのポスターセッションは 17:25 までご覧いただけます。

## WEB サイト

<トップページ>



領域のWEBサイトに様々な情報を掲載しています。

- ・領域について
- ・プロジェクト紹介
- ・イベント、情報発信
- ・マネジメントの現場から
- ・本棚紹介

是非ご覧ください。

<http://www.ristex.jp/cr/>